



Subaru

男声合唱団

ニュース No.245 '10.05.17

新譜の音合わせ始まる ……5月16日(日)……

□5月16日(日)は、高田さんの体操、檀先生のヴォイストレーニングにはじまり、本並先生、檀先生の指揮、静さんのピアノで新譜曲ほかをレッスンしました。団員出席は31名。



□レッスンー口メモ

▼「しあわせは空の上に」;「別れの一本杉」と「上を向いて歩こう」の音合わせをしました。

▼「霜月の午後<奥様お手をどうぞ>」(新譜)の音合わせをしました。

▼「シルクロード」;次を変更して音合わせをしました。

①最初の「アアアアア」を新編曲譜で。

②p 3 ④「アーアー」: T 2 と Br を入れ替えて歌う。

③p 4 ⑤「いにしえ人が・・・」: 全員でメロディーを歌う。

④p 5 ⑥: 途中から入るBs, Br は取りやめ(歌わない)。

⑤p 6 ⑤⑩: T1、T2はメロディー(Brの楽譜)を歌い、⑤⑪: ミファソ(8分音符)から元の楽譜へ戻る。

▼「AMAZING GRACE」(驚くべき恩寵 大いなる恵み)(新譜)の音合わせをしました。(編曲・指揮は檀先生)

▼「暗い牢屋に」;新譜を配布、レッスンは次回に。

□午前中に開かれた運営委員会の議事録が配布され説明がありました。



和歌山から三条場さんが、レッスン風景を見にこられ、藤後団長と旧交を温めました。

去年秋に催された、三条場さん主催の「日本の伝統食物語」で乾さんが「淀川三十石舟歌」を歌ったのが縁で「10周年コンサート」を聴きに来て下さり、熱い共感と激励のメッセージのお手紙を頂戴したところでした。



「昂」団員や家族(奥様と一緒に4組)が大勢コンサートに駆けつけました。静さんはソプラノソロのピアノと「幻想曲 Op.6」を立派に演奏しました。デームス先生も全く年齢を感じさせない艶やかな音色で、みなうっとり。

デームス先生と静さん

ショパン&シューマンフェスティバル

5月14日
京都府民ホールアルティで

月と金星のランデブー
(数年に一度しか見られない
そうです。)

5月16日(日)19時56分
「昂」レッスン帰りの大阪府南部
自宅付近より撮影

